

中 島



平成11年度熊本市歯科医師会通常総会
新 執 行 部 誕 生



目

次

平成12年度熊本市歯科医師会臨時代議員会	1
新執行部挨拶	2
支部長・各委員会名簿	5
平成11年度熊本市歯科医師会通常総会	6
平成11年度熊本市歯科医師会通常代議員会	8
診療報酬点数改定説明会	10
委員会だより	11
第49回母と子のよい歯のコンクール 公衆衛生委員会	
天草パールラインマラソン出務	
国立熊本病院開放型病院連絡会 医療管理委員会	
スタッフレベルアップセミナー	
委員会紹介	14
ー医療管理委員会・厚生委員会ー	
歯科における夜間診療アンケート調査結果	18
Study	24
高松尚史	
ーボンテック基底面を再考するー	
新入会員紹介	26
スポーツの広場	27
総会資料	28
会務報告	35
編集後記	

表紙の写真

熊本新港栈橋にて

この日は潮回りが悪く、釣人は20名程であったが、多い日は場所の確保が困難な程賑わう。安・近・短のレクリエーションの場である。

新 執 行 部 誕 生

— 平成 12 年度熊本市歯科医師会臨時代議員会 —

4月21日（金）7時30分より会館3階にて臨時代議員会が開かれた。本代議員会で理事及びその他の委員が承認され正式に執行部が発足した。

議事録署名人 大川 智弘 太田 憲生 代議員



〈議長・副議長選出〉

川崎俊明、藤波剛の両先生が今期の正副議長に選出された。以後3年間この両名が務めることになる。

〈会長挨拶—要旨—〉

例年一度もなかったと思うが、定款にのっとると理事の選任については代議員会の承認を得る必要があるため、今回臨時代議員会を開いた。3月の総会で、会長、監事が選挙で選ばれている。今の時点で正式にはこの3名のみが決定していることになる。よろしく御審議願いたい。

〈報告事項〉

県歯代議員、予備代議員、連盟評議員、予備評議員、協同組合総代、国保組合会議員に関して行われた。

〈議事〉

理事、裁定審議会委員、選挙管理委員会委員、予備委員、資格審議会委員の各4項について審議され、各々承認された。

〈協議〉

①支部分担金について

古賀専務理事より、昨年から1人3000円の支部分担金を配布して支部活動の活性化に利用してもらっているが、現状はどうでしょうか。今年は6月には配布します。点数改定の説明会等に活用していただければと思います。

②定款の見直しについて

矢毛石常務理事より

3月の代議員会で提出し、再度見直しということでしたが、3月末に送付した「見直し案」に対する返事は1件ありました。

それをにつめて次回の代議員会に提出したいと考えている。

③その他

執行部より今年は上半期の事業として、5月社保説明会、母と子のよい歯のコンクール、6月6日市歯一斉無料歯科検診、6月17日センターホテルにてビアパーティ、8月26日市歯70周年行事を予定しているとの報告がなされた。

最後に菅原副会長より

熱意、誠意、創意で受診率のアップに向けて頑張りたいという言葉で閉会となった。

〈広報 古川猛士〉

[3年間よろしくお願ひします]

— 新執行部挨拶 —

「患者受診促進を目標に」

会長 関 剛一

平成11年度社団法人熊本市
歯科医師会通常総会に於い
て、前期に引き続き本会会長
を拝命する運びとなりました。



厳肅に受け止めながら執行
部一丸となって会員各位の期待に添える様、
本会を執行して行く所存です。

21世紀を目前に控え混迷する医療界の中で
地域に於ける歯科保健・医療・福祉の確立に
務める必要を切実に感じております。特に今
年4月改定の歯科診療報酬での「かかりつけ
歯科」の初診、再診の評価は多くの問題点を
残しながらも今後の歯科診療体系を方向づけ
る一つの指針の様に思える。厚生省医療保健
福祉審議会で審議されている「広告規制緩和」
「情報・カルテ開示」等も見据えながら各診
療所の「患者受診促進」を今期の最大目標と
して各委員会それぞれの立場で対応していく
所存であります。

「原点」

副会長 菅原 洋

2期目の関執行部で1期目
より引き続き重責ある役務を
努めることになり、会長・専
務への補佐の充実と新役員を
含む役員の先生方へのアドバ
イス、会長のテーマであります“患者受診率
のアップ”にデンタルスタッフ及び会員の英
知を結集し、クリーンな診療を推進し、少し
でもアップを計りたい。また、会員相互扶助
の精神と、医の倫理の徹底と“会員の為の歯
科医師会”の原点に帰り、本会、会員の発想
の転換、支部の再活性化をはかり、会費、諸
事業の見直しをし、夢とゆとりのある会の運
営を実現したい。



「マンネリを避けて」

専務理事 古賀 明

関執行部の2期目が無事スター
トしました。会長の今期のスロー
ガンは“受診率の向上”を揚げ、
各委員会それぞれの立場で考え、
実行して欲しいとの所信表明が
なされ、私も専務職2期目となり、地位に甘える
事なく、また、マンネリ化しない様心がけ、会長
の主旨に従い目標達成のため全力をつくすつもり
です。また、今期は、厚生、学術、広報、学校歯
科の4名の新理事が誕生し、年齢的にも少し若
返っております。会員の先生方には今まで以上に
ご指導ご協力の程お願い致します。



「責務の重さを感じて」

常務理事 矢毛石 豊

本会計は会計機構の見直し
で一本化された事により金銭の
流れ等が明確になり、また前会
計担当常務の御努力で入会金の
値下げにもかかわらず、本会会
計が順調に推移している事は、今期会計担当の
常務理事を仰せ付かった私としましては安心して
引き継ぎが出来る反面、責務の重さをひしひ
しと感じております。



私にとってはこの会計はまったく未知の世界
で、小田前常務の立派な会計会務を目のあたり
に見てまいりましたので果たして出来るものと
不安が先立っております。

1年間は注意を怠ることなく現状を維持し会
計の仕組み、金銭の流れ等を勉強していきたい
と思っております。

会員の先生方の御指導の程よろしくお願ひ申
し上げます。

「行政との接点を」

常務理事 蔵田 幸一

この度関会長より常務理事を
委嘱され、責任の重さを痛感し
ております。担当は庶務ですが
全くのゼロからの出発ですので



一日も早く仕事を覚え、定款にうたってありますように専務理事を補佐し、膨大な量の専務の仕事のごくごく一部でもお手伝いできたらと思っております。また長寿の里歯科室も担当することになりました。今までは、私自身行政等と接することが無かったので、これを機に接点を持ち色々な事を覚え、また取り組んでいきたいと思っております。会の為、会員の先生方の為に微力ではありますが努力致しますので宜しくお願い致します。

「患者との相互信頼を

強めるために」

医療管理理事 藤波 好文

引続き2期目の医療管理を担当致すことになりましたので宜しくお願い致します。インフォームド・チョ



イスとかPOSと医療に患者も参加する様になってきました。しかし、歯科医院経営にとって患者との信頼関係、更にスタッフとの相互信頼が大切です。その為には自らの研鑽はもとより、スタッフのレベルアップと院内環境の充実が重要と考えます。スタッフ研修会はマンネリの声もありますが、新人の為、また、在宅、介護の口腔ケア等新企画を交え行う予定にしています。診療の管理医療が強まる中、廃棄物問題、放射線漏洩測定への対応の他、今年より労働基準監督署の就業規則の指導も行われます。更に税務、緊急時の後方支援対策や救急蘇生法講習会も円滑にいくよう努めたいと思います。きびしい経営環境の中、既存の秩序と時代の流れを受け入れた経営戦略と課題は多いですが、委員の先生方と頑張っていきたいと思っております。

「厚生事業を通じて

会員の相互理解を」

厚生理事 斉藤 修身

この度、厚生担当理事を拝命いただきましたが、もとより浅学菲才の身であり、しかも初めての大役で、その任に耐えうるか戸惑っております。委員会の優秀な先生方の



お力をお借りして、会長をはじめ執行部の先

生方、及び会員の皆様方にご迷惑をおかけしない様、精一杯頑張る所存でございます。

事業内容としましては、山村前理事の在任中に始めました熊本市入院入所者歯科診療と夏季の親睦大会や新年懇親パーティーの開催等です。

我々の歯科医療をとりまく環境はますます厳しい状況となっておりますが、厚生事業を通じて会員の先生方の相互理解がより深まり、少しでも歯科医師会に明るさがもたらされればと思います。より多くの先生方の御参集を心よりお待ちしております。

諸先生方の御指導、御支援を賜ります様宜しくお願い申し上げます。

「診療に反映を」

社保理事 稲葉 逸郎

今回社保の担当理事を委嘱されました。2期目となり前期に経験したことを糧として、会員の皆様に保険に関する全ての情報等を色々な方法で素早く対応しお知らせできる様考えております。



保険改定のたびに本当に必要な改正なのか、改悪なのか考えさせられますが、我々にとって保険診療を行う以上、保険に関して、熟知して行うべきであり、知らなかったではすまされない事であります。その中で解釈の違い等はあると思いますが診療したことが保険点数に1点でも反映できるよう、委員全員で勉強努力したいと思います。

「季刊誌の特色を生かした

誌面づくりを」

広報理事 古川 猛士

今回広報担当理事を務めさせて頂くことになりました。振り返ると9年前に寺脇先生の下で広報委員となり、2期6年やった後、前期3年間は委員会を休んでおりました。



この3年は結構醒めた眼で広報誌を読んでいましたが、まさか自分がこの仕事をまかされるとは思ってもいなかったために、大いにとまどっています。自分がいつの間にか中堅といわれる年代となりましたが、若い委員の先生

たちに助けてもらいながら、季刊誌という特色を生かした広報誌、読まれる誌面づくりに努めたいと思っています。

「真の理解を得るために」

公衆衛生理事 与儀 実彦

私が公衆衛生委員会に入って10年目になり、理事としては2期目にあたります。この委員会は市民に対しての歯科相談や啓発活動を行っておりますが、市民の方々が歯の重要性を理解していただけているか解りません。

今期の関執行部の目標が「受診率アップ」となっておりまして、当委員会の担当役割には大きなものがあると考えられます。

これに対して当委員会が行える事は、各委員がもっと勉強をし、市民の方々が納得できる歯科相談、講演等を行う様努力していかなければなりません。また、歯科相談を行ってまして、苦情も多く見受けられます。これらの多くはやはりインフォームドコンセントの不足だと考えられる事例が多くあります。先生方はインフォームドコンセントをしているつもりでも、患者様は理解していないのではないのでしょうか？

今年度の当委員会活動は例年通り行いたいと思っておりますが、歯の衛生週間で行う「各診療所での一斉無料歯科健診」や高齢者のよい歯のコンクールにおける「8020歯科健診」の一層の御協力を御願い致します。

「既存の情報の整理を」

学術理事 清村 正弥

学術担当の清村正弥です。

まずは、3年間、どうぞよろしく願いいたします。

さて、情報過多の感が強い今日、学術委員会に求められる仕事は、最先端部分の紹介ではなく、既存の情報の整理と、それを会員の皆様が実際の臨床で使えるように咀嚼して手渡すことだろうと、思います。当委員会が利用できるメディア（学術講演会、同研修会、それに「中岳」勉強部屋）を通して一人でも多くの先生方のお役にた



てれば、と思っております。

第1回の学術研修会として6月27日（火）には当会会員の松永久先生に、かかりつけ歯科医初診料算定において重要な、口腔内写真撮影の基礎についてデモをまじえて平易に解説していただく予定です。

またこれとは別に（期日は未定ですが、なるだけ早期に）、学術講演会の枠で、口腔内撮影用のデジタルカメラにつきましても、複数のメーカーから直接出向していただき、各社の製品につきまして情報を出してもらい、デジタルカメラの機種選定のご参考にしていただければ、と思っております。こちらは日時等が決定しましたら直ぐにお知らせいたします。

「次代を担う子供達の為に」

学校歯科理事 澤木 孝明

この度、関執行部2期目にあたり学校歯科委員会の理事を拝命しその責務の大きさに身の引き締まる思いであります。

2010年頃より、日本の人口は減少に転ずると言われています。高齢化社会の到来にて、巷では介護保険が話題になっておりますが、それに直接携われる家族の方々の陰が薄いように思われるのは、私だけでしょうか。次代を担う現在の子供達に、しっかりと目を向けなければいけません。

保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等、嘱託歯科医の先生方の協力を賜り、日本の宝であります子供達に関わっていく所存であります。

宜しくご指導、ご協力の程、お願い致します。又、企業検診においては各地区の諸先生方にいつもお世話になっております。引き続きご協力の程、お願いします。

尚、理事も学校歯科委員も初めてであります。が、幸いにも優秀な委員にかこまれ、支えてくれるものと、心強く思っております。



支部長名簿

中央支部長	川崎 俊明	東部3支部長	大川 智弘
北部1支部長	田中 宏	東部4支部長	太田 憲生
北部2支部長	田中 弥興	西部支部長	中川 順一
北部3支部長	斉藤 健	南部支部長	鬼塚 友文
東部1支部長	藤波 剛	小島支部長	奈良 健一
東部2支部長	宇治 道孝	川尻支部長	丸田 兼堂

熊本市歯科医師会委員会名簿

医療管理委員会

◎藤波 好文
○尾上 宏
◎村上 辰郎
清川 恵治
永松 聖隆
宮本 格尚
金本 和久

社保委員会

◎稲葉 逸郎
○河野 哲朗
◎松本 光示
金本 良久
渡辺 洋
福田 忠彰

広報委員会

◎古川 猛士
○広田 達也
◎山本 資晴
篠原 威雄
前川 研二
谷脇 信二
舩津 雅彦

学術委員会

◎清村 正弥
○渡辺 猛士
◎山部 英則
高松 尚史
坂口 貴章
牛島 隆
小野 秀樹

厚生委員会

◎斉藤 修身
○有田 俊昭
◎寺本 豊徳
御任 弘玄
瀬井 知己
竹下 憲治
松田 恵

学校歯科委員会

◎澤木 孝明
○津野田 稔
◎弘中 一郎
岩井 泰介
前田 明浩
井手 裕二
吉崎 久次
山口 一彦

公衆衛生委員会

◎与儀 実彦
○笹原慎一郎
◎斉藤 忠継
原田 教二
山部耕一郎
杉野 弘武
川口 孝
二宮 康郎

評価委員会(在宅)

菅原 洋
古賀 明
矢毛石 豊
蔵田 幸一
与儀 実彦

※◎印は担当理事

○印は委員長

◎印は副委員長

関会長再任さる

— 平成11年度社団法人熊本市歯科医師会通常総会 —

平成11年度社団法人熊本市歯科医師会通常総会が3月22日(水)午後7時より県歯科医師会館3階ホールにて開催され全議案可決承認されました。



1. 開 会 矢毛石豊常務理事
2. 議長及び副議長選出
議 長 林正之先生
副議長 木村義浩先生
3. 物故会員に対する黙祷
4. 会長挨拶 関剛一会長

〈要旨〉

激動の時代の医療界の中で1期3年間務めてきましたが、各医院の経営が非常に圧迫されているのをひしひしと感じています。今期を振り返ってみますと対外的事業では多数の審議会、協議会、各委員会等に出席して菌科的な立場から行政等に意見を述べてきました。介護保険策定準備委員会の中でも意見を述べてきましたし、本会の中からは介護認定審査会に委員として6名出てもらっています。また、居宅療養管理指導事業所としてはほとんどの会員がみなし指定を受け4月からの介護保険に向け準備しています。対内的には会計機構の一本化、未入会者対策等を行いました。未入会者対策の一つとして入会金の減額を行い、また本会の案内書を作成し配布しました。本年度は例年になく12名の入会者があり本会あるいは県歯の組織力の強化につながったのではないかと考えていま

す。さらに3年がかりで定款を見直しましたが、まだまだ検討すべき点があるのではないかとということで継続審議となりました。また病診連携にも力を入れてきました。自分の手に負えない所は専門の分野の先生に診てもらうという体制づくりに力を入れてきました。この3年間会員の皆様の為に会務を執行してきました。皆様方の御協力に感謝しています。



患者の掘り起こしを訴える鬼塚県歯会長

5. 来賓挨拶 鬼塚義行県歯会長
- ### 〈要旨〉

熊本市歯科医師会には色々な面でご協力を頂き感謝しています。また貴会の動きにはいつも注意を払って見ていました。特に行政への取り組みが非常にうまいと感心しています。未入会者対策では無理なお願いをして入会金を減額して頂きました。その結果入会者が増えたことは市歯会にも県歯会にも有り難いことです。

中央状況では抜本改正、医療費の改正を訴えてきましたが力及ばずといったところですが。今度の改正ではかかりつけ歯科医初診料などいろいろな付帯条件がついていますが見逃す手はないと思っています。今までは連盟一本で陳情のくり返しを行っていましたが、これには限界があり、考え方を少し

変えなければならない時期にきたのではないかと
思っています。患者の掘り起こしを行い受診率を
上げねばなりません。歯科の特徴として自然治癒は
ありません。カリエスにしろ、歯周病にしろ潜在患
者は多数いますので全力をそそいで掘り起こしを
行うべきです。その一つとして8020運動がありま
す。高負担高福祉が浸透すればやりやすいのです
が、高福祉は望むが高負担はごめんだというのが
現状であります。市民に同意を求めながら、我々は
あなた達の健康の為に必死で頑張っていますとい
う取り組み方が必要ではないかと思ひます。

今後とも熊本市歯科医師会の発展をお祈り致し
ます。



6. 議事録署名人選出

岡田知久先生

小島博文先生

7. 報告

- | | |
|-----------|----------|
| 1) 会務報告 | 古賀 明専務理事 |
| 2) 庶務報告 | 矢毛石豊常務理事 |
| 3) 会計現況報告 | 小田和人常務理事 |
| 4) 監査報告 | 本田 亘監事 |

8. 代議員議長審議経過報告

田中 宏先生

9. 議事

第1号議案 平成12年度熊本市歯科医師会事業
計画(案)の承認を求むる件 承認

第2号議案 平成12年度熊本市歯科医師会(一
般会計)予算(案)の承認を求むる件 承認

第3号議案 平成12年度熊本市歯科医師会(収
益事業会計)予算(案)の承認を求むる件

承認

第4号議案 平成12年度熊本市歯科医師共済会
計予算(案)の承認を求むる件 承認

第5号議案 平成12年度熊本市歯科医師会役職
員退職積立金会計予算(案)の承認を求むる
件 承認

第6号議案 平成12年度特別会計熊本市歯科医
師会創立70周年記念事業会計予算(案)の承
認を求むる件 承認

第7号議案 平成12年度熊本市歯科医師会会費
及び負担金の賦課徴収方法の承認を求むる
件 承認

第8号議案 借入金の限度額の承認を求むる件
(案) 承認

第9号議案 熊本市歯科医師会会長・監事選挙
に関する件

会長 関 剛一先生

監事 宇都宮啓一先生

本田 亘先生

以上の如く当選されました。



10. 協議

熊本市歯科医師会定款規則改正(案)について
現定款を3年がかりで検討してきました。先日会長
に答申しましたがまだまだ不備な点があったため
原案を全会員に目を通して頂き、ご意見等を出し
て頂きたいと思っています。そしてすばらしい定款
をつくりあげたいと思っています。

11. 閉会 菅原洋副会長

(蔵田幸一)

平成11年度社団法人熊本市歯科医師会代議員会

平成11年度社団法人熊本市歯科医師会代議員会が3月16日(木)午後7時30分から県歯科医師会館3階ホールにて開催され、第1号議案を除き可決承認されました。



1. 点 呼 矢毛石豊常務理事

2. 開 会 矢毛石豊常務理事

3. 会長挨拶 関 剛一会長

〈要旨〉

会員の先生方には3年間大変お世話になりました。特に代議員の先生方には執行部との連携をうまくとって頂いたと感謝しています。

4月から医療保険法の抜本改正があると予測していたが中医協の中で診療者側と支払い側とが対立し決裂した為先送りとなった。日歯が要求していた11.4%アップも2.5%におさえられた。今期の本会の事業として会計機構を見直し、入会金会計、委託事業会計を一般会計に繰り入れた。入会金を減額し既に支払った会員には差額を一括して返還した。又、本会の事業を小冊子にまとめた案内書を作成し入会者へ配布した。本年度は例年になく12名もの入会者があり、本会あるいは県歯の組織力の強化につながると思われる。又、執行部と支部との連携を密にする為に支部分担金を配布した。さらに3年がかりで定款の見直しを行い本日の議案として提出しています。

今代議員会は次年度の事業計画案と予算案が主です。宜しく御審議下さい。

4. 議長及び副議長選出

議 長 田中 宏代議員

副議長 宇治道孝代議員

5. 議事録署名人選出

奈良健一代議員

富田久之代議員

6. 物故会員に対する黙祷

7. 報告

1) 会務報告 古賀 明専務理事

2) 庶務報告 矢毛石 豊常務理事

3) 会計現況報告 小田 和人常務理事

4) 監査報告 宇都宮啓一監事

8. 議事

第1号議案 熊本市歯科医師会定款規則改正(案)の承認を求むる件

・この件はまだ検討すべき点が多々あるのではという意見が出て継続審議となった。

第2号議案 平成12年度熊本市歯科医師会事業計画(案)の承認を求むる件

第3号議案 平成12年度熊本市歯科医師会(一

般会計)予算(案)の承認を求むる件

第4号議案 平成12年度熊本市歯科医師会(収

益事業会計)予算(案)の承認を求むる件

第5号議案 平成12年度熊本市歯科医師共済

会計予算(案)の承認を求むる件

第6号議案 平成12年度熊本市歯科医師会役

職員退職積立金会計予算(案)の承認を求
むる件

第7号議案 平成12年度特別会計熊本市歯科

医師会創立70周年記念事業会計予算(案)

の承認を求むる件

第8号議案 平成12年度熊本市歯科医師会会

費及び負担金の賦課徴収方法の承認を求
むる件

第9号議案 借入金の限度額の承認を求むる

件(案)

9. 協議

・支部分担金について

各支部どのように使用したかを聞いたかっ
たが審議が長引いたので後日各支部長に古

賀専務がうかがう。次年度は4月末か5月
初めに支給する

・その他

各担当理事は代議員会の承認を得ること
になっているので4月に臨時代議員会を開
催予定。

・中央支部より質問

Q 7月からデンタルコムスンという会社が
介護サービスを本県で行うそうで、又、全
国各地でも行う予定であると聞いているが?

A 県歯の代議員会・総会でもこの質問が出
た。非会員の1診療所がデンタルコムスン
と契約を結んでいるそうです。設備等は全
てデンタルコムスンがそろえて1回あたり
8,000円で契約しているそうです。これに伴
う診療報酬はデンタルコムスンの収入とな
るので現在我々が行っている訪問診療の方
が得である。要は一般会員が協力するかど
うかの問題であると思われます。

10. 閉会 菅原洋副会長



(蔵田幸一)

「かかりつけ歯科医」に積極的に取り組み、受診率のアップをめざしたい

— 平成 12 年度社会保険診療報酬改定説明会 —

5月8日(月)午後7時30分より熊本県歯科医師会館3階において点数改定説明会が、多数の会員の先生方が参集して開催されました。



河野哲朗社保委員長の司会で始まり、関剛一会長の挨拶の後、稲葉逸郎市社保担当理事による点数改定の解説がなされた。別室ではデジタルカメラを用いての口腔内写真撮影及び保存に関する実演が市学術委員の先生方の協力で行われた。

今回は質問が多数寄せられており、4月より診療報酬の一部改定に伴い新規導入となった「かかりつけ歯科医」について重点を置いた説明会となった。スタディーモデルや口腔内写真、患者さんに対する「同意」、文書提供などあまり難しくとらえずに積極的に取り組んで頂き、いくらかでも受診率のアップ、患者獲得につながるよう推進して行きたいと述べられた。



1) 同意：患者さんが来院し保険証を提示した時点で診療に対する契約は成立しているので、その後患者さんに対して治療方針の説明を行い理解、確認を得た上で「かかりつけ歯科医」へと移って頂きたい。

2) スタディモデルを用いて説明した場合：

- 1 歯列・咬合状態
- 2 歯牙の状態
- 3 軟組織の状態
- 4 欠損部の状態

検査結果は1～4を必要に応じて要点をカルテに記載する。保存期間は治療終了又は中止後翌月から2カ月間とする。

3) 口腔内写真を用いて説明した場合：最低3枚（一応基本的には正面・上下咬合面観だが、患者さんの治療に必要と思われるものが適当）は撮影する。保存期間は3年とする。

4) 治療計画書：3回目の来院時までには必ず文書の提供を行う。文書はカルテにも添付し、治療計画が変わった時は追加又は変更という形で再度文書提供を行う。

5) 保険証への記載：お互いのために必ず行う。又、義歯新製、床裏装の場合にも必ず記載する。

続いて介護保険について居宅療養管理指導及び請求書・明細書の書き方についての話の後、あらかじめ寄せられていた質問について解説がなされ1時間半の説明会は終了した。

デジタルカメラの実演ではコンピューターが苦手な先生方を考慮しての簡単でコストのかからない方法が説明されていた。

(社保 金本良久)

委員会だより

公衆衛生委員会

第49回母と子のよい歯のコンクール



去る5月13日、県歯科医師会館3階ホールにて熊本市ならびに熊本市歯科医師会主催による「母と子のよい歯のコンクール」熊本市大会が開催された。これは歯の衛生週間行事として正しい知識の普及をはかるとともに、歯科疾患の早期発見、早期治療、さらに予防処置の励行を徹底させることにより、市民の健康の保持増進に寄与することを目的としている。



当日は、9時30分より、受け付けが開始された。熊本市内の5つの保健福祉センターより、特に今回は厳しく選出された7組の母子(3才児と母親)に対し、公衆衛生委員4名が、歯牙、歯列、咬合、歯肉、口腔内清掃状況等について審査を行った。なお今回選出された母子は各保健福祉センターにてピックアップされた6474組から選ばれた方々で、例年はおよそ15組の母子がコンクールに参加されるところ、今回はさらに選りすぐりの7組ということで、審査も実に難航した。

表彰式は11時より行われ、最初に今まで3年間、最優秀賞を受賞してきた武田親子より体験発表をしていただき、市衛生部長の中山氏、市歯科医師会会長の関先生の挨拶の後、公衆衛生委員会理事の与儀先生より講評があった。続いて表彰が行われ、優秀賞として北村親子、萬寿

(ます)親子が表彰された。こうして、会場では和やかな雰囲気のもと、第49回を数える「母と子のよい歯のコンクール」は無事に終了した。
(山部耕一郎)

天草パールラインマラソン大会

今回は28周年記念大会を迎えることとなった恒例の「天草パールラインマラソン大会」が、去る3月12日(日)天草郡大矢野町にて開催された。前日の雨にも関わらず当日は絶好の天候で、小春日和を思わせる気候で風も少なく、全国から集まった3779人のランナーが、力走を競い合った。



開会式では、大矢野町長や助役の挨拶の他、ゲストとして沖電気のランナーが特別参加し、大会に華を添えていた。最近恒例となったエアロビクスで体をほぐした後、男女それぞれ年齢別で10キロ、20キロのコースに分かれ、「遅いあなたが主役です」の言葉通り、参加者全員元気にマイペースで健脚を競った。参加者の中にはビエロや力士など、思い通りの仮装で愛嬌を振りまくランナーもいた。沿道では多くの町民らが盛んに声援を送っていた。またゴールに入ってくるランナーはそれぞれ達成感で満足しているようだった。



また本大会は熊本市保健医療専門団体連合会による走行前後の健康検診が例年通り行われ、熊本市歯科医師会からも、参加者が安全にそして楽しく走ってもらうための、出務を行った。

(斉藤忠継・山部耕一郎)

■■■ 病診連携で緊急時にも対応 ■■■

一 国立熊本病院開放型病院連絡会 一

第8回国立熊本病院開放型病院連絡会が3月15日（水）、午後7時より同病院地域医療センターで約90名が参加し開催され、市歯科医師会よりも30名が参加しました。

総会では同病院宮崎久義院長、市医師会豊田大徳会長が先ず挨拶された。開放型病院となって、3年10ヶ月がたち、登録医も595名（歯科57名）となり、歯科も一緒となったものは全国でも稀な会である。また日帰り手術を多くし、手術後や病状の安定した患者は紹介医へ、直接来院患者もできるだけ早く一般開業医へ逆紹介を行っている。また問題点もできるだけ改善が図られているとのこと。

全体会では、市医師会の石原先生、同病院木村副院長の司会で行われ、本年度は開放型病院としての利用は若干減り、共同診療もれもあるとの事であった。利用状況については、今回は、救急医療センター、心臓血管センターのメンバー紹介も兼ねて行われ、いづれも年々増加しているとのことでした。

その後、分科会に移り、歯科は第3分科会として、同センター会議室で行われました。同病院歯科口腔外科児玉昭昭医長より、外来紹介は増加しているが、開放型病院としては10年度4件、11年度3件と少ないが、より充実させたいと挨拶された。本会の関会長は取り組みと現在に至ったあらましを説明され、また例えとして野球では先発完投型より、現在は先発、中継ぎ、締めくくりの分担化が一般的となっており、歯科医療でも、かかりつけ歯科医、専門科への早期紹介等の機能分担の必要性を述べられた。

歯科の分科会はできるだけ同病院の各科の先生方と交流ができるように配慮しており、今回は、麻酔科、放射線科、救急医療とミニレクチャーを交え質疑、意見交換があった。麻酔科よりは、江崎先生、瀧先生、田尻先生が

出席され、歯科の日常臨床使用している局麻剤の濃度や有病者への使用問題及びショック発生について質疑があった。同科とは過去2回救急蘇生法講習会で指導してもらっており、気軽にディスカッションが行われた。放射線科よりは古閑先生の出席があり、予約で撮影依頼できることや画像診断では2、3年後導入予定の新MRIでは顎関節診断に対応できるものも考えている。またCTでも3Dによる歯と顎の立体画像に取り組みたいと頼もしい意見も頂いた。救急センター、循環器科の高橋先生へは緊急に発生した全身的偶発症への処置法や救急依頼についての質問が主に行われた。緊急時にはサイレン音なしの救急車やタクシーでもかけつけ、救急対応してもらえるとのことである。本会の全身的偶発症のアンケート調査でも、近医や後方支援病院への応援依頼が漸増しており、診療所内にもう1人の医師（高橋先生）がいるものと思ってよいという言葉は頼もしく、安心して日常診療に励めるものであった。またアナフィラキシーショック時における救急薬の必要性、血管確保の重要性とともにボスミン1ml1/2アンプルの皮下注が必要であるとされた。また、登録医は前もって診療所が確認されており、緊急時にはより早く対処してもらえるとのことでもあった。

病診連携は機能分担として益々重要になりつつあり、また医科との交流とともに、短時間ながらも各専門科よりの知識の獲得できる会として有意義なものと思われました。

（医療管理 藤波好文）

「中身の濃い一日、更なるレベルアップを目指して」

ースタッフレベルアップセミナー開催ー

晴天の4月16日。県歯会館3Fホールにて20名の参加者で、スタッフレベルアップセミナーを開催致しました。



2期目を迎えた関会長の挨拶の後、九州GCの中村衛生士、倉員衛生士を講師にスケーリング、シャープニング、ブラッシング及び接遇について研修が行われました。本年は各医院ともスタッフの入れ替わりも少ないとの事で新人のほか、もう一度更なるレベルアップを目指したリフレッシュのスタッフが混ざったセミナーとなりました。又歯周病は生活習慣病と言われ、チーム医療である現在、特に衛生士の役割は重視されており、基本的技術の大切さを研修できるように、今までの土日2日間のコースを県歯医療管理委員会のセミナーに重ならないように9:30~16:00の1日に変更致しました。丸1日かけた講義と実習に参加者は真剣に取り組みました。日頃使い慣れているスケーラーの管理についても再度の確認を行い、現在主に使われているスケーラーのシャープニングや使用時のテクニックの指導がありました。ホールにはスケーラーを研ぐキーン、キーンという音だけが響いており、少し不気味な静けさです。参加者の私語は聞こえてきません。また接遇のときは表情やひとつの言葉の使い方が大切である事等、患者との接し方のポイントをメモしていました。最

後に受講修了証が手渡された時は、疲れた中にも満足した笑顔が見られました。



一部衛生士以外のスタッフの参加がありましたが、日頃直接患者の口腔内に接する事ができないスタッフにとっては、模型とはいえその困難さや器具の取り扱い、管理の大事さを経験できて、よりよいアシストができるものと思います。



これからの診療の中での参加者の実践を期待致します。ご苦勞様でした。

(医療管理 尾上 宏)

委員会紹介

医療管理委員会



- ①氏名
- ②開業場所
- ③家族構成
- ④最近感動したこと・憤慨したこと
- ⑤委員会に所属しての感想
- ⑥趣味



- ①尾上 宏委員長
- ②熊本市八分子町3117 小島支部
- ③妻 祐子
長男 宏太朗 18歳
次男 祐文 17歳
三男 卓史 14歳
- ④最近感動したこと
パッチ・アダムスと言うビデオを見て医者とはどういうものか考え、又、実践した人がいたことに驚いた。
最近憤慨したこと
多すぎて書けない。誰か減らしてくれ。
- ⑤私の出来る限りの努力で頑張りたいと思っています。
- ⑥ゴルフ ドライブ



- ①村上辰郎副委員長
- ②熊本市田迎 南部支部
- ③妻 典子
長女 未記 済々黉2年
長男 慶高 田迎小5年
次女 可納 田迎小2年
- ④プレステ2を買い、技術の向上におどろきました。
子供とゲーム(ゴルフ)を楽しんでいます。
- ⑤初めての委員会では何もわかりませんので、理事の藤波先生・他の先生方よろしくをお願いします。
- ⑥ゴルフ



①清川恵治委員

②熊本市尾ノ上2-5-12 東部4支部

③父 76歳

母 74歳

妻

長男 中3

次男 小5

④青少年の犯罪。

⑤すばらしいメンバーと供に会の為に頑張ります。

⑥スポーツ観戦



①永松聖隆委員

②熊本市鹿子木町75-1 北部3支部

③妻(親分)

長男 小3(9歳)

長女 幼稚園(5歳)

④「われら青春」の高校生が純粋に「七曲署」の刑事が心強く「夕陽ヶ丘の総理」を頼もしく思っていた頃が懐かしい。

⑤理事をはじめ委員会の皆さんに御指導頂き、猫の手以上の貢献ができればと思っています。委員会後の一杯も楽しみです。

⑥料理 外で遊ぶ事 音楽



①金本和久委員

②熊本市白藤町574-12 川尻支部

③妻 江美

長男 龍弥(4歳)

長女 紗弥(1歳)

④少年犯罪について、少年法の改正を至急望む。

⑤初めて委員会に所属させて頂いたわけですが、とても良い雰囲気の委員会で感謝しております。

⑥競馬 温泉旅行



①宮本格尚委員

②熊本市近見7丁目12-39 川尻支部

③妻 美砂

長男 崇史(5歳)

長女 歩実(3歳)

④犯罪の低年齢化と陰湿化に、心を傷めております。これから子供をどのように育てていくか、2児の父親として考えさせられます。

ミレニアムを迎えて気分一新、全てが良い方向に向かってほしいと切望いたします。

⑤医療管理委員会も2期目になり、仕事の内容がやっと解ってきた所です。今期は少しでも戦力になれるように頑張りたいと思います。また、今期は県の医療管理委員会とも兼任しておりますので、うまくパイプ役を果たしていきたいと思っています。

⑥熱帯魚、アウトドア(特に魚釣りや山)、子供との虫取りなど

委員会紹介

厚生委員会



- ①氏名
- ②開業場所
- ③家族構成
- ④最近感動したこと・憤慨したこと
- ⑤委員会に所属しての感想
- ⑥趣味



- ①有田俊昭委員長
- ②熊本市田井島3-3-74 南部支部
- ③妻 久子
長女 佳代 (中2)
二女 圭織 (小5)
- ④少年犯罪が多発しているが、早急に学校教育の見直しをすべきではないか。
- ⑤会員の先生方に参加していただける厚生事業とは何かを、委員会メンバーと共に考えていきたいと思っています。
- ⑥オートキャンプ、スキー



- ①寺本豊徳副委員長
- ②熊本市戸島町 東部3支部
- ③妻 貴子 (?歳、自称20代) 何年もダイエット中。
長女 智美 (中3) 読書、パソコンに熱中。
次女 未樹 (小6) 吹奏楽部でトロンボーンに熱中。
- ④相次ぐ少年犯罪と警察の不祥事
- ⑤理事を中心として、委員会がたいへんごやかな雰囲気です。この委員会では2期目ですので、いささかの経験がありますが、会員の先生方の親睦が少しでも深まってゆくよう、理事のご指導のもと頑張っていきたいと思っています。
- ⑥小旅行



- ①御任弘玄委員
- ②熊本市下通1-2-1 中央支部
- ③妻 佳代 (歯科医師)
長男 (中1)
次男 (小5)
長女 (小5)
- ④“アメリカンビューティー”がアカデミー賞を受賞したのは、成熟した社会の深刻さをうまく描いたからだろうと映画を観たあと考えさせられました。主人公に影響された訳ではないのですが、最近シェイプアップに取り組んで2kgほど減量しました。ついでに物欲を捨て、ため込んだがらくたをどんどん整理し、何もないシンプルな生活をするのもいいかなと考えるこの頃です。

⑤今期厚生委員となって、ビアパーティー、新年会など行事を計画するのに本当にいろんな事を打ち合わせていかなければならない事を知りました。

今まで厚生でお世話になりましたが、今からは委員として、会員の方々のお役にたてるよう努力していきたいと思います。

⑥写真、旅行、キャンプ



①瀬井知己委員

②熊本市清水町麻生田1097-3 北部3支部

③妻

長女

④続発する凶悪な少年犯罪を思うとき、昔の修身教育の復活が必要なのではと考えております。

⑤厚生委員会に所属して2期目になりますが委員会の仕事も少しずつ慣れてきた所です。斉藤理事のもとで、会員の先生方のお役にたてるよう頑張りたいと思います。

⑥競馬

(日曜日の朝からグリーンチャンネルを見ながら馬券を買うことです。柿原先生、赤穂特別ではコールミーラブにお世話になり有り難うございました。オープンまで上げられるよう期待しております。)



①竹下憲治委員

②熊本市西梶尾町474-2 北部3支部

③妻 恵美子(37歳)

長女 沙希(11歳)

次女 那央(7歳)

長男 涼平(2歳)

④今年40歳となり、健康に注意して頑張っていきたいと思います。毎日ワイドショーで若年者の殺人事件が取り上げられ、日本の将来はどうなるのでしょうか。

⑤新年会、ビアパーティーに若手の参加が減少しているようです。いろんな企画を考え、多数出席して頂けるようにしていきたいと思います。

⑥下手なゴルフ 生涯できる趣味を見つけたいと思います。



①松田 恵委員

②熊本市南高江7丁目9-2 川尻支部

③妻 和子

長男 晃輔

長女 菜々

④最近感動したこと 約1年前の長女の出産

最近憤慨したこと 今回の点数改定

⑤入会1年未満の私にいったい何が出来るとは分かりませんが、足手まといにならないように、一生懸命皆様についていきたいと思います。

⑥デジカメ、パソコン、プレステ2

歯科における夜間診療アンケート調査結果

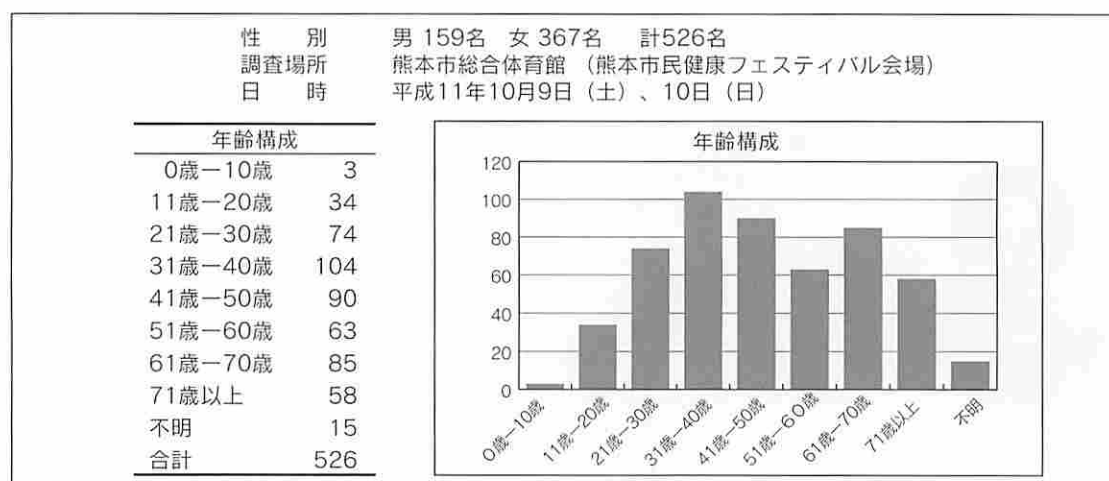
生活時間の多様化、社会的要求、また緊急性の面から夜間及び休日歯科診療のニーズは増してきています。また、歯科を取り巻く環境の厳しさ、サービス競争に対しての経営戦略及び消費者主義という患者の要求等時代の流れの受け入れから夜間まで診療する医院も増加傾向にあります。しかし、救急医療は医科では整備されているが、歯科では直接生命に関与することが少ない等で、対応は遅れています。突然の不眠に至る激しい痛みや

不慮の事故、小児の予想できない訴え、また咀嚼、審美障害の突発的な事態も多く、救急歯科医療体制の整備が望まれています。

今回、歯科における夜間救急診療の必要性と現在の受診状況について平成11年熊本市民健康フェスティバル会場で市民より、会員先生からは12月メ切りでアンケート調査を行いました。また会員先生よりは一般夜間診療の実態についても調査したので、その集計結果について報告致します。

1. 市民より歯科受診と夜間救急治療に関するアンケート調査

1) 平成11年市民健康フェスティバルの歯科部門来場者のうち男性159名、女性367名計526名より回答を頂いた。



2) 歯科受診のきっかけは(重複回答可) 歯の痛み、う蝕400名、歯周病42名、義歯81名であった。健康に関する催し会場での調査でもあったが、歯石や歯の清掃112名、検査や定期検診51名と口腔と歯の健康管理への高まりも認めた。

歯科医院を受診されるのはどんなときですか？	
歯の痛みや虫歯	400
歯周病	42
義歯	81
歯石や歯の清掃	112
検査や定期検診	51
歯列矯正	6
その他	2

3) 県歯科医師会の休日診療(於:口腔保健センター。平成11年10月より市歯科医師会も月2回出務)と本会会員当番医による休日夜間診療の存在は知っている191名、知らない328名と救急歯科への理解と広報不足を認めた。

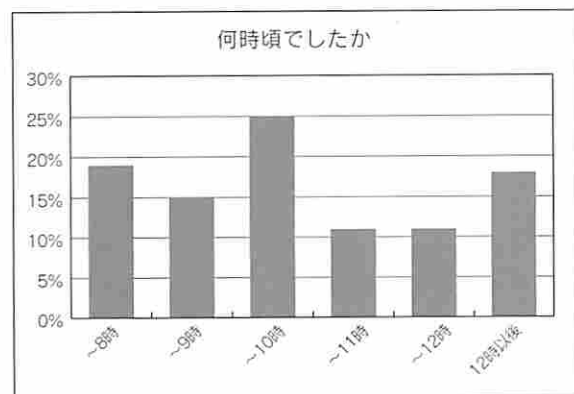
歯科医師会が日曜、祝・祭日に昼間(10時～16時)及び夜間(18時～23時)の急患当番で診療をしているのはご存知ですか？	
知っている	191
知らない	328
利用した事がある	6
不明	1

4) 夜間に歯の痛みなどがありましたかの間では257名と半数が経験していた。症状は痛みが255名とほとんどあり、事故などの外傷も8名あり緊急時の救急歯科の必要性を認めた。また、その発生時間は各時間帯で大差は認めなかった。緊急症状の処置を受けたのは34名で、我慢したのが195名で大多数を占めた。不十分な対応は歯科医療への不満・不信感の基ともなりかねない

夜間に歯の痛みなどで困られた事がありますか	
ある	196
家族がある	61
ない	255

★ある方(本人、家族)のみお答え下さい

症状などについてお尋ねします	
歯などの痛み	255
事故などでの外傷	8
冠がはずれた	35
その他(歯肉の痛みなど)	7



5) 夜間緊急歯科診療に対する自由意見は31名記入頂き、日常歯の健康に留意すべきで職員や給料が大変と歯科医側には有り難い意見もあったが、あれば助かる、便利、必要、安心できると多く、また連絡先についての開示や新聞で知らせてほしい等の意見があった。更に、

ので、歯の健康管理の大切さの理解と実践に努めてもらうとともに、救急歯科当番医の存在を知ってもらう必要を感じた。困られた方は大人、女性に多かったが来場回答者の性別・年齢の影響も考慮せねばと思えた。

また、夜間救急歯科診療の必要性は困られた方にとっては休日のみ97名、平日34名、全日141名とほとんど必要であった。

困られた方のお年は	
幼児(6歳まで)	19
子供(小、中学生)	34
大人(16歳～60歳)	156
60歳以上	41

その時はどうしましたか	
かかりつけの歯科に連絡、治療を受けた	24
救急当番医で治療した	10
痛み止めの薬を飲むなどして我慢した	195
その他	22

その他(翌日行った、正露丸をつめた、仁丹を含んだ、我慢した、冷やした、酒を飲んだ)

性別	
男	99
女	159
夜間救急歯科診療の必要性について	
日、祝、祭日のみ	97
平日	34
全日	141
不要	7

複数制やセンター制の希望もあり、広報や制度の充実、発展が望まれるものと思う。本制度は平成11年5月より熊日等で公開されており、利用者は激増している。参考にその利用度と平日も夜間救急対応している鹿児島市歯科医師会の平成10年度利用状況を掲載する。

在宅歯科当番表について

(1) 在宅歯科当番医年度別診療実績（熊本市歯科医師会）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	計
診療件数	6年度	4	4	0	1	2	2	13	0	1	2	0	1	1	5	18
	7年度	2	6	0	0	1	0	9	1	3	4	0	2	2	12	21
	8年度	2	3	2	1	1	3	12	1	0	0	2	3	2	8	20
	9年度	1	1	1	3	0	1	7	0	2	1	0	2	1	6	13
	10年度	0	2	0	0	1	0	3	0	1	0	1	0	0	2	5
	11年度	0	46	15	11	10	16	98	27	26	21	24	15	30	143	251

(2) 在宅歯科当番医広報

広報機関名	広報内容	広報方法	備考
熊本ケーブルネットワーク	診療日時	チャンネルガイド	平成11年5月 から掲載開始
白木メディア株式会社	診療時間(18:00～23:00)	インターネット	
熊日新聞編集局地方部	診療当番医院名	熊日新聞	
日本共産党熊本県委員会	所在地	赤旗新聞	
マインド	電話番号	情報誌「HOMEHOME」 (月刊誌)	
熊本リビング社		リビング新聞	

(3) 鹿児島市歯科医師会平成10年度実績（盆、年末、正月含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	計
診療件数	67	99	64	86	93	60	469	85	65	96	86	65	78	475	944
内休日	27	41	14	30	52	22	186	31	42	60	37	24	24	210	396

Ⅱ. 会員よりの夜間救急診療アンケート調査結果

（平成11年12月末日メ切）

1) 回答数は129名であり、特に東部支部と40代、50代の先生から多かった。

支部名	年齢
中央 16	30代 19
南部 13	40代 39
北部 19	50代 35
東部 60	60代 13
小島 2	70代 4
川尻 6	80代 1
西部 2	不明 8
不明 11	

2) 歯科医師会で夜間診療を行う必要性については各診療所にまかせる53名、行うべき42名、無い23名であった。生命にかかわることが少ない、自己管理ができていない患者が多いとの意見もあったが、市民からのアンケート結果や夜間診療が公開されてからの急増や鹿児島市歯科医師会での利用度の多さ、また各診療所において診療したにもかかわらず、痛み等が続いての受診や後述の各医院での対応数から必要な制度と考えられる。

夜間診療を歯科医師会で行う必要がありますか？	
無い	23
各診療所の対応にまかせる	53
救急診療のみを行う	33
緊急以外の処置もできるようにする	9

3) 救急夜間診療について、時間は11時までが57名で最も多く、施設は現在の輪番制より口腔保健センター方式の専用施設の希望が多く、また体制は地域別とか多忙時には複数を望む声が多かった。今後、行政等へも必要度の理解を訴え、平日や複数制も検討する時期ではないかと思える。

救急夜間診療についてお尋ねします。

何時頃まで行う必要がありますか	
9時まで	7
10時まで	22
11時まで	13
12時まで	21
朝まで	2
不明	3
休日夜間当番と同じく午後6時から11時まで	44

どのような施設で行うのが良いと思われますか	
各診療所（輪番制）	51
歯科医師会、又は地域医療センター等に設置された診療室（口腔保健センター方式）	64
その他	6

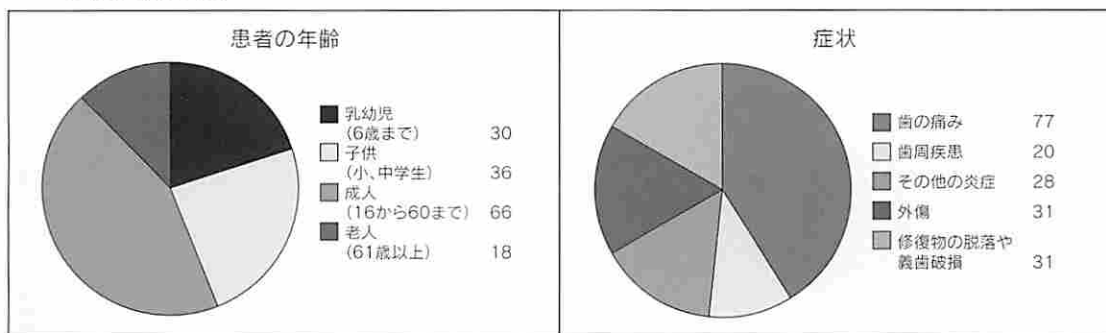
どのような体制で行うのが望ましいですか	
①各診療所（輪番制）の会員が行う	
市内1ヶ所	16
地域別に数力所	33
多忙時（年末年始、5月連休、盆など）は複数	20
②歯科医師会で設置できれば会員が輪番で出向いて行う（口腔保健センター方式）	28
③専任の歯科医師を雇用して行う	27

4) 平成10年、11年度における夜間及び休日の各診療所での急患数は10年351件、11年473件の他、多数との回答があった。一部症例の多い診療所もあったが、アンケート回答が約1/3であったことを考慮すると実際は更に急患は多いものと思われる。

夜間又は休日に急患などの受診が平成10年、11年で何件ありましたか？

- 1) 平成10年 延べ351件 1件平均2.7件
平成11年 延べ473件 1件平均3.7件
(注) 多数という回答、人数に幅を持たせた回答あり
- 2) その対応は自院で多く、年齢は各世代にあり、症状は痛み、炎症、外傷が多く、救急体制の必要性を認めるものであった。

どのように対応されましたか	
自院で診療した	57
日曜当番医を紹介した	9
他の診療所を紹介した	12
電話での対応、指示で解決した	19
その他	4



その他 (T.M.J 脱臼、骨隆起、薬による悪心など)

5) 平日の夜間当番制の登録については、制度が仮定であることや高齢者回答もあったので「登録する」は60名にすぎなかったが、現在の休日夜間診療に準じてが望まれる。

平日の夜間当番医制ができれば登録されますか	
する	60
しない	37
不明	21
その他希望	6

Ⅲ. 一般夜間診療について

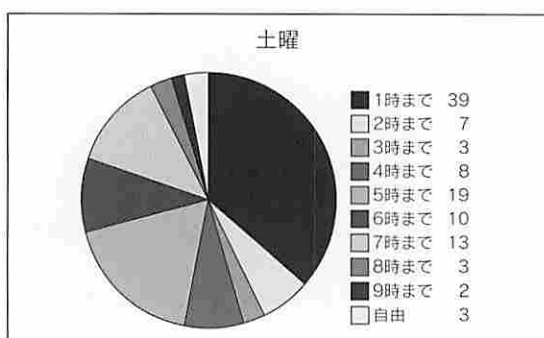
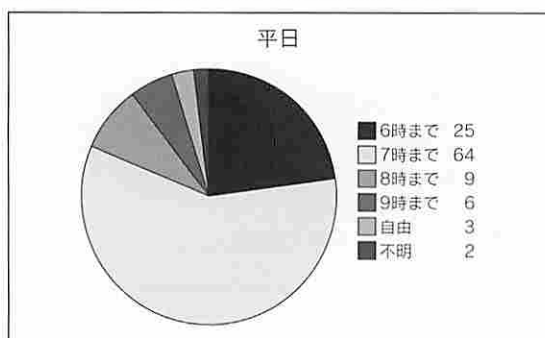
社会環境の変化、経営問題、患者のニーズ等により、夜間まで診療する診療所も増加していますので、現状と意見についてアンケートを行った。また休診日も従来の土曜午後と日曜・祝日より平日に休診し、土曜の午後診療する診療所も増加しているので調査した。望ましい診療時間及び現在の診療時間も平日は7時までが大多数であったが、時間規制については守ると自由が拮抗していた。

一般夜間診療についてお尋ね致します。

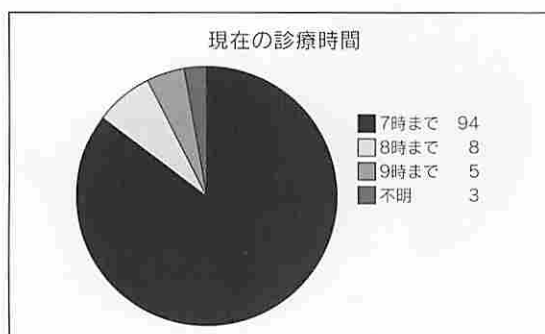
- 1) 現在規制はありませんが、健全で良質な医療存在基盤を守るため、概ね午後7時までの診療を望ましいとしていますが会員として時間を決める事は必要ですか？

規制について	
規制はできないが守る必要がある	37
規制してもよい	13
会員の自由とすべきである	62
夜間診療したいので守りたくない	0
その他	1

- 2) 診療時間は何時ごろまでが望ましいですか？



- 3) 現在の診療時間は何時までですか？又、何曜日が休日ですか？



休 日	
日祝日	56
日祝日と土曜午後	51
日祝日と水曜午後	3
日祝日と木曜午後	7
日祝日と木曜全日	9
日祝日と水曜全日	1
日祝日と土曜隔週	2
不明	2

4) 診療時間を決めるほうが望ましいと思われる方にその理由をお尋ねします。

理 由	
患者の健康教育	27
歯科医師、スタッフの健康問題	61
良質なスタッフの確保	38
モラルの問題	26
患者の要求は際限無く拡大し、医師としての權威の失墜を招く恐れがある	37
医療事故の問題	19
会の諸行事に参加しにくい	19

5) 規制の必要は無いと思われる方へお尋ねします

理 由	
生活、社会の時間は多様化しているのでいつでも治療を受けられる様な配慮が必要	39
経営的問題	32
周囲の歯科医院もしているので仕方ない	9
健康、スタッフ問題は交代制等で対応できる	13

7) 会員より自由意見

夜間救急及び夜間診療について41件の貴重な意見をいただいた。夜間診療は多数が行うべきであり、現在のままや複数制、専用施設で行うべきである、等の意見が多かった。また、高齢や自宅が別であるので大変、特定の歯科でしているのだから必要がない、本当の救急が少ない、患者が自己管理していないので必要ない、等の意見もあった。更に、当番経験して患者のわがままに対する不満もあった。夜間診療に対してはモラル・健康問題による反対、コンビニ化になる必要はない、医師としてのプライドを持つ必要がある等の意見があった。患者のニーズ、自由競争時代で歯科医師会が規制する問題ではないという意見もあった。

まとめ

回答いただいた先生に協力の感謝を致します。救急夜間診療は必要性や利用度も増し市民の要求も多く、信頼関係を確保する点よりも、更なる充実を目指すことが大切になってきている。

夜間一般診療の増加に対しては競争や時代の流れを受け入れた経営戦略、また患者のニーズもあり、更に独禁法等の法律問題より会としての規制はむしろかしくなっている。しかし、7時までが望ましい意見が大多数を占めることや健康、良質なスタッフの確保、患者の健康管理教育問題等もあり、今後医療という視点を見失わないで、議論を重ねていく必要があろうと思える。

医療管理委員会（宮本格尚、尾上宏、清川恵治、鳥取孝治、
田中弥興、澤木孝明、藤波好文）

ポンティック基底面を再考する

高松 尚史

近年の歯科における変革は著しく、理論や方法など以前までは否定されていたり、考えもつかない方法が提案されたりすることもある。その中のひとつにポンティック形態がある。私が大学で学んだ10数年前と現在とではその考え方に若干の差がでてきているのではなかろうか。当時は主に清掃性に主眼をおいていたと思われるが、ここ4、5年の間に歯肉接触を主体とする形態が増えつつあると私は感じている。そこで、原点から考え直し、現在の流れをふまえて再考したい。

ーポンティックとはー

ポンティックは、口腔の健康と快適さを維持するために、欠損歯に代わって機能と外観を回復する固定性橋義歯の構成要素である。実際に、最適なポンティックの設計のためには、生物学的条件・機械的条件・審美的条件・機能的条件などを満たさなければならない。今回は、その中の生物学的条件に着目することになる。

ー生物学的条件ー

ポンティック設計における生物学的原則は、歯槽堤、支台歯、対合歯、支持組織の健康を維持し保護することである。なかでも、特に影響を与える因子は、歯槽堤との接触、ブラークコントロール、咬合力の方向である。咬合力は別にして、ポンティック基底面の形態がポンティックの生物学的条件の本態をなすと思われる。つまり、基底面の形態により、ブラークコントロール、食塊の流れ、発音、外観などに影響を与える。

ーポンティック形態の種類ー

ポンティック形態を従来に於いて分類するとおおむね以下になる。

A 粘膜接触型

1. サドル (鞍状型)

2. モディファイドサドル
3. リッジラップ
4. モディファイドリッジラップ

B 粘膜非接触型

1. サニタリー・ハイジニック(完全自浄型)
2. モディファイドサニタリー
3. バレット (砲弾型)

これらの分類は、主に歯槽堤への接触状態・形態により分けられている。私は、以前は、完全自浄型やリッジラップがもてはやされていたと記憶している。しかし、最近では、モディファイドサドルや、新しくオベイトポンティックを全面に押し出す先生も多い。最近の補綴では機能と審美が重要視され、それに伴う生物学的背景も論じられている。術者のみでなく、患者の立場を考えて、治療法が考えられてきているためであると思う。オベイトポンティックなどは、そのいい例だと思われるが、以下はその内容について述べたい。

ーオベイトポンティックー

ポンティックの基底面が、丸味を帯び(卵型)、歯槽堤に0.5~1.5mm程度入り込むような形を呈する。特に審美性が要求される前歯部・小白歯部に用いられ、軟組織の形態(頬舌的・近遠心的)を整え、自然な外観・舌感・発音・食塊形成を良好にする。

ただし、その応用にあたり、プロビジョナルレストレーションの取り扱いに注意し、歯槽粘膜の適正な形態への修正に時間を要する。



図1 初診 21 抜歯



図2 抜歯 6ヶ月後



図3 ブリッジ装着後



図4 舌側面



図8 抜歯後1週間

一方 法一

オベイトポンティックの作製に当たり、重要な歯槽粘膜の調整方法には、主に以下の2つの方法がある。

A 歯槽窩への応用

1. 抜歯と同時に抜歯窩へプロビジョナルレストレーションを挿入する。
2. 定期的にポンティック基底面を確認し、目的の形態へ修正する。
3. 歯槽粘膜に炎症のない状態を確認後、最終印象に移る。



図5
抜歯窩にポンティックを挿入する。
(4)より改変

B 歯槽堤への応用

1. 歯槽頂を電気メスや大きめのダイヤモンドバーにて削除する。
2. その後は抜歯窩への応用の流れと同じ

筆者は、簡単で患者の協力が得られやすい抜歯後の修正を主に行っている。抜歯後の歯肉の吸収を押さえ、歯間乳頭が保存できる。また、いずれにしても抜歯窩は、治療までの経過を待つため、その間に抜歯後の歯肉の形態を誘導するだけだからである。



図6 ⑤抜歯前

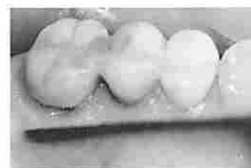


図7 抜歯後
プロビジョナル装着

一 注意 点

しかし、オベイトポンティックは、注意する点も多い。

1. 歯肉との適度な密接状態が作られること
2. 基底面は高度に研磨された材料を使うこと。できれば、陶材が望ましい。
3. 歯槽骨頂より2～3mmの距離に、ポンティックが位置するようにする。

など、何回か臨床に応用しながら、熟練していく必要もある。



図8
⑤ オベイトポンティック
装着後2年。
プラークコントロールが悪く、
支台歯に炎症があるが、
それにもかかわらず、
ポンティック周辺には見られない。

ま と め

インプラントの普及などで、従来のブリッジ症例が減少している傾向はあるが、現在においては、ポンティックは不可欠なものである。ポンティックの形態の違いに関する予後は、これからの長期的な観察がさらに必要になる。しかし、現時点においては、オベイトポンティック、モディファイドサドルに関して、私はいい感触を持っているので、臨床の応用を通じて、経験を積みたいと思う。患者の反応がいいのも強みである。世の中の変化が激しいので、数年後には、歯科界の常識が変わるかもしれないが……。

参考文献

- 1) 山崎長郎、本多正明：臨床歯周補綴2；第一歯科出版、1992
- 2) 行田克則：審美歯科とティッシュマネージメント；デンタルフォーラム、1996
- 3) 藤本順平：クラウンブリッジの臨床；医歯薬出版、1999
- 4) 歯科技工別冊；医歯薬出版、1998
- 5) 山崎長郎：審美修復治療；クインテッセンス出版、1999

新人です!よろしくお願ひします

新 入 会 員 紹 介



氏 名 有働 秀一
住 所
(自 宅) 熊本市薬園町8-15 電話096-343-7707
(診療所) 熊本市南千反畑町10-5 電話096-211-9540
生年月日 昭和43年9月25日
趣 味 体を動かす事なら何でも
好きな言葉 「一期一会」
人との出会いこそ生きていく上で最も大切なものであり、
自分自身の成長の全てと考へます。
経 歴 神奈川歯科大学卒業
三浦市三浦歯科医院勤務
菊池郡三隅歯科医院勤務
家 族 父
母



氏 名 二宮 康郎
住 所
(自 宅) 熊本市帯山2丁目12-24 電話096-382-4180
生年月日 昭和41年1月16日
経 歴 平成4年3月21日 福岡歯科大学歯科部歯科学科卒業
第85回歯科医師国家試験合格
平成4年4月6日 福岡歯科大学大学院歯学研究科入学
口腔外科第一講座専攻
平成8年3月21日 同大学院終了歯学博士取得
(福岡歯科大学甲第83号)
平成8年4月1日 福岡歯科大学口腔外科第一講座
平成10年5月30日 同講座助手退職



氏 名 新名 正明
住 所
(自 宅) 熊本市水前寺1丁目4-40-501 電話096-362-3154
(診療所) 熊本市本荘6丁目17-15 電話096-362-5041
生年月日 昭和24年11月17日
趣 味 釣り
好きな言葉 なるようになるさ
経 歴 福岡歯科大学2期
家 族 妻 由紀
長男 白川中学3年生
次男 白川中学2年生



スポーツの広場



トーナメントゴルフ会

平成12年2月26日 18名

	O	I	G	H	N
優勝 木村 洋	47	44	91	18	73
2位 寺島美史	48	57	105	30	75
3位 合沢康生	44	44	88	13	75
4位 河合隆一	44	44	88	13	75
5位 山室紀雄	42	48	90	12	78
B.B 藤波 剛	55	50	105	20	85

平成12年3月19日 14名

	O	I	G	H	N
優勝 安田光則	45	42	87	15	72
2位 古賀 明	44	40	84	12	72
3位 内田 隆	41	43	84	11	73
4位 大森秀則	47	47	94	21	73
5位 河合隆一	45	43	88	13	75
B.B 本田治夫	51	47	98	15	83

空港デントル会

平成12年4月9日 ダブルペリア方式 18名

	O	I	G	H	N
優勝 工藤隆弘	44	46	90	19.2	70.8
2位 千場敏昭	42	49	91	19.2	71.8
3位 千場正昭	46	45	91	19.2	71.8
4位 渡辺 博	44	42	86	13.2	72.8
5位 松本光示	41	44	85	12.0	73.0
B.B 田中弥興	53	52	105	22.8	82.2

熊本デントル会

平成12年2月20日 空港カントリー 18名

	O	I	G	H	N
優勝 松本光示	39	39	78	5	73
2位 工藤隆弘	44	43	87	14	73
3位 渡辺 博	38	45	83	8	75
4位 川崎俊明	42	45	87	12	75
5位 本田 亘	49	45	94	17	77

平成12年3月26日 空港カントリー 21名

	O	I	G	H	N
優勝 甲斐利博	41	37	78	4.8	73.2
2位 川崎俊明	43	42	85	9.6	75.4
3位 本田 亘	45	45	90	13.6	76.4
4位 工藤隆弘	43	45	88	11.2	76.8
5位 渡辺 博	42	42	84	6.4	77.6

平成12年4月23日 空港カントリー 16名

	O	I	G	H	N
優勝 稲葉逸郎	40	42	82	5.6	76.4
2位 川崎俊明	44	42	86	9.6	76.4
3位 大嶋健一	43	45	88	8.8	79.2
4位 坂梨常太郎	47	45	92	12.0	80.0
5位 中島義和	41	46	87	5.6	81.4

庶務報告

H12.2月末現在

1. 現在会員数 323名

一般会員	273名
親子会員	3名
終身会員	39名
勤務会員	0名
特別会員	8名

2. 入会者

H11. 5.18	中山 哲夫	熊本市水道町9-31 日産火災熊本ビル4F	中 央
H11. 7.27	長 也寸志	♪ 清水町新地1851	北部 3
H11. 7.27	松田 恵	♪ 南高江7-9-2	川 尻
H11. 7.27	長 忍	♪ 南高江1-13-56	川 尻
H11. 8.24	舩津 雅彦	♪ 近見2-13-29	川 尻
H11. 9.21	川口 孝	♪ 帯山8-6-41	東部 3
H11.10.26	井手 裕二	♪ 水前寺6-1-14	東部 3
H11.10.26	白石 久	♪ 大江4-3-1 松江ビル2F	東部 1
H11.11.27	池嶋 由希	♪ 山ノ神2-13-29	東部 4
H12. 1.25	井野 健	♪ 出水6-20-1	東部 2

3. 物故者

H11. 4. 1	上村 月江	熊本市島崎1-17-18	西 部
H11.10.30	渡邊 信忠	♪ 武蔵ヶ丘5-1-15	東部 1
H12. 1. 9	大塚 果	♪ 田崎町3-1-18	南 部
H12. 1.11	福田 実	♪ 小島下町2012	小 島

4. 退会者

H11. 4.30	あきた病院	熊本市会富町1120	小 島
-----------	-------	------------	-----

5. 代表歯科医変更

(竜山病院) 大 村 順 子 → 南 谷 美 和

第1号議案

平成12年度熊本市歯科医師会事業計画(案)

厚生委員会

1. 親睦大会 平成12年6月17日(土曜日)
2. 熊本市歯科医師会新年懇親パーティー 平成13年1月27日(土曜日)
3. 入院入所者月別年別資料作成
4. 会員、家族の健康診断

公衆衛生委員会

1. 歯の衛生週間行事
 - ・母と子のよい歯のコンクール開催
 - ・8020表彰
 - ・歯科無料相談(市役所ロビー)
 - ・全会員による歯科無料健診
2. 熊本市立幼稚園フッ素塗布(年2回)
3. 熊本市民健康フェスティバル
4. 健康教室講座講演出務
5. 天草パールラインマラソン出務
6. シティエフエム出演

学術委員会

1. 学術講演会 2回
2. 学術研修会 2回
3. インターネットホームページ企画、ガイドブック作製

社会保険委員会

1. 県社保委員会との緊密なる連絡協議
2. 社保関連諸会議、研修会への出務と協力
3. 保険診療、請求事務に対する研究と対応
4. 診療報酬改正に対する素早い対応
5. 保険診療に関する説明講習会の開催
6. 県歯、保険課主催の保険指導への対応
7. 保険者の苦情、質問等への対応
8. 個別指導者に対する事前指導

学校歯科委員会

1. 熊本市学校保健会歯科部としての活動並びに協力参加
2. 熊本市立保育所・幼稚園・小学校・中学校の園医、校医の推薦
3. 熊本県学校保健研究協議大会への参加
4. 九州地区学校保健研究協議会への参加
5. 歯の衛生週間の期間、ビデオ・スライドの貸し出し
6. 熊本市立幼稚園及び小学校での歯磨き巡回指導
7. 熊本市民健康フェスティバルへの出務
8. 熊本小児保健研究会、熊本市エイズ総合対策推進会議出務

医療管理委員会

1. スタッフ研修セミナー
 - ・フレッシュマン向けセミナー(講義、実習)
 - ・歯科材料の取り扱い、ブラークコントロール・ブラッシング
 - ・在宅歯科診療におけるアシスタント
2. 口腔ケアセミナー
3. 接遇レベルアップ研修会
4. 講習会、研修会
5. 医療苦情及び事故対策、歯科医療経営
6. 三歯会座談会
7. 救急蘇生法講習会(11月)
8. 税務申告説明会(平成13年1月)
9. 後方支援病院への挨拶及び対応
10. 代診制度の対応及び鹿児島大学歯学部第一口腔外科との懇談会
11. 平成13年度税務カレンダー作成(3月)
12. 放射線漏洩測定器の貸出管理
13. その他
 - ①特別管理産業廃棄物報告書相談会(6月)
 - ②熊本市役所職員、家族歯科健診の取り扱い
 - ③青色申告会への対応
 - ④院内掲示ポスター類の更新及び新製
 - ⑤就業規則労務の検討
 - ⑥国立熊本病院開放型病院への対応

広報委員会

1. 「中岳」年4回 発行
2. 「かわら版」年12回 各月発行
3. 顔写真入り名簿作成

第2号議案

平成12年度熊本市歯科医師会（一般会計）予算（案）

＜収入の部＞

款	項	目	科	目	予	算	額	前年度予算額	増	減	備	考
1				会費入会金収入	41,932,000	41,354,000	578,000					
	1			均等割	20,652,000	20,194,000	458,000					月6,000円
	2			保険診療負担金	11,280,000	11,160,000	120,000					保険診療収入の1,000分の1
	3			入会金	10,000,000	10,000,000						
2				過年度会費	100,000	70,000	30,000					前年度未納者
3				事業収入	44,532,000	41,655,000	2,877,000					
	1			委託料	44,382,000	41,500,000	2,882,000					
		1		長寿の里委託料	23,000,000	23,000,000						
		2		在宅事業委託料	21,382,000	18,500,000	2,882,000					
	2			健診料収入	70,000	105,000				35,000		熊本市職員、家族歯科健診
	3			入院入所者事業収入	80,000	50,000	30,000					機械使用料
4				県歯より事業助成金	7,100,000	7,100,000						
5				雑収入	570,000	1,000,000				430,000		
	1			預金利子	370,000	800,000				430,000		
	2			雑入	200,000	200,000						中岳広告料 依頼書、入歯手帳代
6				前年度繰越金	8,000,000	7,000,000	1,000,000					
7				借入金	1,000	1,000						
				計	102,235,000	98,180,000	4,055,000					

＜支出の部＞

款	項	目	科	目	予	算	額	前年度予算額	増	減	備	考
1				事業費	56,741,000	53,757,000	2,984,000					
	1			委員会支出	11,728,000	11,886,000				158,000		
		1		学術委員会費	1,358,000	1,436,000				78,000		
		2		公衆衛生委員会費	1,466,000	1,626,000				160,000		
		3		社会保険委員会費	680,000	700,000				20,000		
		4		医療管理委員会費	1,260,000	1,260,000						
		5		広報委員会費	2,735,000	2,720,000	15,000					
		6		厚生委員会費	2,448,000	2,368,000	80,000					
		7		学校歯科委員会費	941,000	936,000	5,000					
		8		各種委員会費	840,000	840,000						資格審議会 臨時委員会
	2			医政費	2,220,000	1,500,000	720,000					医事連理事会 健康フェスティバル その他対外会議費
	3			長寿の里支出	22,135,000	22,135,000						
		1		人件費	17,704,000	17,704,000						職員3名分(Dr1名DH2名)会議費
		2		薬品費	200,000	200,000						
		3		歯科技工料	2,000,000	2,000,000						
		4		診療材料費	1,200,000	1,200,000						
		5		事務用品費	300,000	300,000						
		6		事務費	731,000	731,000						レセプト請求事務代 その他

款	項	目	科 目	予 算 額	前年度予算額	増	減	備 考
	4		在宅事業支出	20,520,000	18,102,000	2,418,000		
		1	健診料	10,400,000	10,330,000	70,000		協力医への健診料
		2	衛生士費	7,600,000	5,800,000	1,800,000		
		3	評価委員会費	412,000	364,000	48,000		
		4	運営協議会費	100,000	100,000			
		5	備品管理費	225,000	225,000			
		6	消耗品費	250,000	250,000			
		7	通信費	270,000	270,000			
		8	保険料	332,000	332,000			自動車保険、傷害保険
		9	管理運営費	931,000	431,000	500,000		リコピー料、事務所借室料
	5		健診事業支出	60,000	90,000			
		1	健診料	60,000	90,000		30,000	1人3,000円
	6		入院入所者事業支出	78,000	44,000	34,000	30,000	
		1	薬品費	8,000	10,000			
		2	補修管理費	70,000	34,000	36,000	2,000	
2			管理費	23,015,916	22,763,704	252,212		
	1		渉外費	700,000	675,000	25,000		香典代、御樽代等
	2		役員報酬	4,420,956	4,516,104			役員14名分
	3		職員給料	5,080,800	4,751,600	329,200	95,148	職員3名分
	4		職員諸手当	2,900,000	2,900,000			職員2名分
	5		厚生費	1,410,000	1,350,000	60,000		事業主保険料等
	6		旅費	1,200,000	1,290,000			九州八市役員協議会 交通費
	7		需要費	2,400,000	2,400,000		90,000	郵送費 TEL FAX
	8		事務所費	1,056,000	1,056,000			借室料 水道光熱費
	9		備品費	150,000	150,000			
	10		委託費	900,000	900,000			税理士顧問料、コンピュータ管理費
	11		使用料及び賃借料	83,160	160,000			コンピュータリース料
	12		租税公課	1,500,000	1,400,000	100,000	76,840	法人税 消費税
	13		雑費	1,215,000	1,215,000			封筒印刷、お茶代 その他
3			会議費	1,600,000	1,164,000	436,000		常務会 代議員会 その他
4			支部分担金	972,000	960,000	12,000		
5			補助金等支出	100,000	100,000			
	1		県歯科衛生士会補助金	100,000	100,000			
6			繰入金支出	18,224,000	18,224,000			
	1		退職積立金支出	1,224,000	1,224,000			
		1	役員退職金支出	504,000	504,000			役員14名分
		2	職員退職金支出	360,000	360,000			職員2名分
		3	長寿の里退職金支出	360,000	360,000			職員3名分
	2		基本財産繰入金	11,000,000	17,000,000			
	3		記念事業会計	6,000,000		6,000,000	6,000,000	
7			予備費	1,581,084	1,210,296	370,788		
8			借入金返済	1,000	1,000			
			計	102,235,000	98,180,000	4,055,000		

第3号議案

平成12年度熊本市歯科医師会(収益事業会計)予算(案)

〈収入の部〉

款項	科 目	予 算 額	前年度予算額	増	減	備 考
1	雑 収 入	80,000	50,000	30,000	50,000	ガイドブック印税
2	前年度繰越金	230,000	210,000	20,000		
	計	310,000	260,000	50,000		

〈支出の部〉

款項	科 目	予 算 額	前年度予算額	増	減	備 考
1	寄 付 金	200,000	200,000			
2	利 益 金	1,000	1,000			
3	雑 費	84,000	54,000	30,000		
4	租 税 公 課	25,000	5,000	20,000		消費税
	計	310,000	260,000	50,000		

第4号議案

平成12年度熊本市歯科医師共済会計予算(案)

〈収入の部〉

款項	科 目	予 算 額	前年度予算額	増	減	備 考
1	互 助 費	4,140,000	4,140,000			
	1 初回金	500,000	500,000			1人50,000円
	2 負担金	3,640,000	3,640,000			月1,000円
2	雑 収 入	200,000	200,000			
3	前年度繰越金	11,000,000	10,000,000	1,000,000		
	計	15,340,000	14,340,000	1,000,000		

〈支出の部〉

款項	科 目	予 算 額	前年度予算額	増	減	備 考
1	給 付	5,700,000	4,950,000	750,000		
	1 傷病見舞金	700,000	700,000			1人20,000円
	2 弔慰金	4,000,000	4,000,000			会員500,000円・家族20,000円
	3 災害・見舞給付	1,000,000	250,000	750,000		
2	供 花 費	235,000	235,000			生花、花環代
3	事 務 費	20,000	20,000			
	1 通信費	10,000	10,000			
	2 雑 費	10,000	10,000			
4	予 備 費	9,385,000	9,135,000	250,000		
	計	15,340,000	14,340,000	1,000,000		

第5号議案

平成11年度熊本市歯科医師会役職員退職積立金会計予算(案) (役員)

＜収入の部＞

款項	科目	予算額	前年度予算額	増	減	備考
1	役員退職積立金	504,000	504,000			14名分
2	前年度繰越金	42,000	1,050,000		1,008,000	
	計	546,000	1,554,000		1,008,000	

＜支出の部＞

款項	科目	予算額	前年度予算額	増	減	備考
1	役員退職金	0	1,512,000		1,512,000	
2	次期繰越金	546,000	42,000			
	計	546,000	1,554,000		1,008,000	

(職員)

＜収入の部＞

款項	科目	予算額	前年度予算額	増	減	備考
1	職員退職積立金	360,000	360,000			2名分
2	長寿の里積立金	360,000	360,000			3名分
3	預金利子	7,000	1,000	6,000		
4	前年度繰越金	4,957,218	4,227,585	729,633		
	計	5,684,218	4,948,585	735,633		

＜支出の部＞

款項	科目	予算額	前年度予算額	増	減	備考
1	職員退職金	0	0			
2	長寿の里退職金	0	0			
3	次期繰越金	5,684,218	0	5,684,218		
	計	5,684,218		5,684,218		

第6号議案

平成12年度特別会計熊本歯科医師会 創立70周年記念事業会計予算(案)

＜収入の部＞

款項	科目	予算額	備考
1	繰入金	6,000,000	
	1 繰入金	6,000,000	本会一般会計
2	寄付金	1,000	
	1 寄付金	1,000	
3	助成金	1,000	
	1 助成金	1,000	
4	雑収入	501,000	
	1 受取利息	1,000	預金利息
	2 雑収入	500,000	祝儀等
	計	6,503,000	

〈支出の部〉

款	項	科 目	予算額	備 考
1		事業費	4,050,000	
	1	式典費	150,000	ニュースカイホテル
	2	講演費	300,000	
	3	顕影費	800,000	賞状、記念品代
	4	祝宴費	2,800,000	ニュースカイホテル
2		総務費	800,000	
	1	会議費	300,000	
	2	通信費	200,000	はがき、切手代 他
	3	印刷費	200,000	コピー使用料
	4	雑費	100,000	
3		会員名簿作成費	500,000	
4		予備費	1,153,000	
	1	予備費	1,153,000	
		計	6,503,000	

第19号議案

平成11年度会費及び負担金の賦課徴収方法の改正の承認を求むる件(案)

	科 目	年賦課額・賦課率	賦課方法	徴収方法
会 費	均等割(一般)	72,000	12回	毎月 (各6,000円)
	(終身)	4,000	4回	4.5.6.7月 (各1,000円)
	(親子)	36,000	12回	毎月 (各3,000円)
	(勤務)	72,000	12回	毎月 (各6,000円)
	(特別)	70,000	1回	4月
	矯正専門医、保険診療 をしない一般会員	100,000	10回	4～1月 (各10,000円)
	所得割	1/1,000	12回	毎月(社保、国保診療報酬)
入会金	一般会員	1,500,000	1回 分割	入 会 時 初回金300,000円 翌月より100,000円(12回)分割
	親子会員	1,000,000	〃	入 会 時 毎月100,000円(10回)分割
	勤務会員	2,000,000	〃	入 会 時 初回金300,000円 翌月より1年間(12回)分割
	特別会員	1,500,000	1回	入 会 時
共済会費	初回金	50,000	1回	入 会 時
	負担金(一般、親子、勤務)	12,000	12回	毎月 (各1,000円)
	(終身)	2,000	死亡された月	死亡された都度(4人を限度)

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
3月13日	138回理事会(会務・庶務・委員会報告・協議)
4月27日	139回理事会(会務・庶務・委員会報告・協議)
5月22日	140回理事会(会務・庶務・委員会報告・協議)

医 療 管 理 委 員 会

月 日	協 議 題
3月 2日	夜間診療アンケート調査の集計
3月15日	国立熊本病院開放型病院の説明会への対応 国立熊本病院開放型連絡会
4月13日	歯科における夜間診療のアンケートのまとめ 夜間診療アンケート調査結果
5月18日	歯科受診と夜間緊急歯科治療に関するアンケート調査の集計結果 7/15在宅、スタッフ研修セミナー 患者受診率アップについて

学 校 歯 科 委 員 会

月 日	協 議 題
3月24日	歯みがき巡回指導事前講習会
4月26日	平成12年度学校歯科委員会活動計画について
5月19日	市役所健診打合わせ 歯みがき巡回指導打合わせ

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
4月24日	事業計画、本年度予算、学術研修会について
5月10日	学術研修会について 社保説明会報告

厚 生 委 員 会

月 日	協 議 題
3月 1日	入院・入所者についての集計
3月29日	ピア・パーティーについて
4月28日	関会長よりの各委員への委嘱状の付与 口腔保健センターの日曜当番の分担について
5月23日	ピア・パーティーについて 厚生委員会の写真撮影

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
3月28日	2000年診療報酬改定について
4月 7日	診療情報提供書の記入法について
4月18日	歯科診療報酬改定の要点の検討
5月 1日	5月8日歯科診療報酬改定説明会の準備
5月24日	5月8日歯科診療報酬改定説明会の準備 在宅研修会説明事項の確認 年間指導計画の確認 審査委員合同協議会協議事項の確認

公 衆 衛 生 委 員 会

月 日	協 議 題
3月17日	第49回 母と子のよい歯のコンクール 市役所ロビー歯科相談
4月13日	無料歯科健診(各歯科医院)について 母の子のよい歯のコンクール出務者
5月12日	市役所ロビー歯科相談出務者について 母と子のよい歯のコンクール打ち合わせ シティFM出演者 市役所ロビー歯科相談について

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
2月25日	かわら版3月号 編集会議
	中岳108号 編集会議
2月28日	中岳108号 編集会議
3月14日	中岳108号 第1校正
3月21日	中岳108号 第2校正
3月24日	かわら版4月号 編集会議
4月25日	かわら版5月号 編集会議 関会長より委嘱状の付与 口腔センター診療担当 中岳109号 編集会議

70周年記念準備委員会

月 日	協 議 題
5月19日	70年の記録整理
5月25日	70周年記念表彰者リストアップ

～協同組合だより～

協同組合では下記のようにレセプト・カルテの他医院事務用品並びに各種商品を取り扱っていますので是非ご利用ください。

レセプト・カルテ・医院事務用品印刷販売のご案内

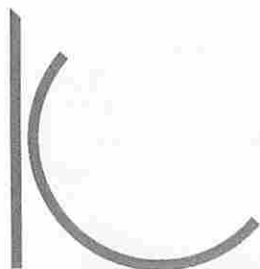
商 品 名		販売価格
(レセプト)		
コンピュータ用	100枚	450
手書き用(一般・50/100・老人)	100枚	300
単票	100枚	300
(カルテ)		
社保(本人)1・2号様式		250
社保(家族)	〃	250
国保	〃	250
(経理・検査諸書類)		
領収書	50枚	200
収支日計表	100枚	500
患者日計表	100枚	500
歯科経理帳	30枚	840
歯科予診録	100枚	330
歯周精密検査表	50組	650
歯科衛生士業務記録	50枚	170
紹介状	100枚	550
補綴物維持管理情報提供用紙	1,000枚	1,500

その他の商品

パイプ／500円、アガリクス茸／16,000円、アクアドクターUF／19,800円、機能水生成装置／444,000円・リース可
 クリアベール／25,250円・36,750円・54,000円、リラックス／10,500円、エネルギーTシャツ／3,900円
 浄水生成装置／550,000円・リース可、ダイエットスリッパ／3,400円、プロボリス／24,000円／蛍光灯／11,000円
 カニバック／α 6,000円・88 α 9,000円・90 α 10,000円／高性能空気清浄機／月額リース18,500円
 フットマッサージャー／55,000円、オー・ナチュラル1,200円・15,000円、／バイオ式ゴミ処理機49,800円

上記商品のご用命及びお問い合わせは協同組合事務局(TEL343-6400)まで

技術と信頼がテーマです



DENTAL LABORATORY AISHI

株式会社 愛歯

〒860 熊本市大塚4丁目2番42号
Phone. 096-343-5839 Fax. 096-343-5105

編 集 後 記

パソコンをやっと始めることになりました。大学入試や就職活動にも必要とのことで、子どもにも「今時パソコンがないのはうちくらいだ。」とせがまれ家電安売り店に行き、店員さんに入門用に見繕ってもらいとりあえず購入しました。勝手が判らず四苦八苦しています。誰か先生になってくれー。

さて、新委員会になって始めての中岳がやっと出来上がりました。委員もかなり入れ替わり、不慣れな面もありますが、全員で協力しあいながら、より良い広報活動が出来るようにがんばりたいと思っています。原稿執筆などご協力よろしく願いいたします。

(T・H)

熊本市歯科医師会会誌

第 109 号

発行日 平成12年6月25日発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL (343) 6669

FAX (344) 9778

発行
責任者 関 剛 一

印刷所 株式会社 ハタノ

熊本市上熊本2丁目1-30

TEL096-356-6433 FAX096-311-1388